

# まえがき

「相手を理解すること」は「相手を尊重すること」であり、「友好」の基盤です。

「相互理解」は遠い道のりですが、国と国の「争い」をなくす唯一ゆいいつの手段だと思えます。本書は、海外の日本語学習者が、日本語を学びながら、「日本」について多くの分野の知識を身につけ、「日本」を理解してもらうために、夫婦で作りました。

.....

外国語を学ぶ目的は、相手の国の言葉で話をしたり、文字や文章を読んだり書いたりすることだけではありません。「言語」を通して、その国の「社会」の姿や「文化」の形、人の「考え方・心情」を理解することです。

外国語を勉強する人にとって大切なことは、「語学訓練」に偏かたよらないで、「その国の文化」を理解し、相互理解と友好の「絆きずな」を深めることです。

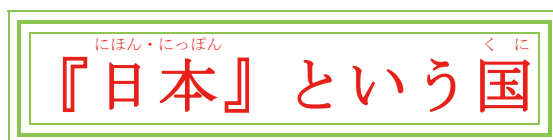
本書は、「日本の今」と政治の課題、政治・経済の流れと歩み、国土、三権分立、日本国憲法、歴史、自然、伝統文化、日本語（文字の歴史や敬語など）、日本人の行動様式、和食など、「日本と日本人」を幅広く理解するための「日本語教材」です。

「日本語」について、「慣用句かんようく」、「四字熟語しじじゆく」、「早口言葉はやくち」、「回文かいぶん」、「擬音語ぎおんごと擬態語ぎたい」の具体例も加えました。

世界の国で日本語を勉強している人たちは、一人一人が大切な“民間大使”です。

世界の日本語学習者のために、少しでもお役に立つことが出来れば、という願いから、

## 【日本語教材】



をまとめました。

(一) 日本語を勉強している人たちに、『日本と日本人』について、「これだけは知ってほしい」という内容を盛り込みました。

(二) 独学でも、日本語を勉強しながら、『日本と日本人』を知ることが出来るように、「漢字にルビ（ふりがな）」を付けました。

「ルビ」の数で、以下の三つの「『日本』という国」に分けました。

「**上級者向け**」・「**初級者向け**」・「**電子書籍**（上級者向け）」



※ 『日本』という国名こくめいの呼び方については「あとがき」に。



2018年4月

大森和夫・大森弘子

Eメール = yuraumi@yahoo.co.jp

URL = <http://www.nihonwosiru.jp/>

(国際交流研究所)